

コウウンマネク ユカイナテンジ
二〇二六ノ年・睦月

ファンキー福助展

大入

入場無料

FREE
ADMISSION



正座袴口上福助(貯金箱) 昭和期 堺市蔵

古くは明治時代より近年の作まで
60体以上の貴重な福助人形がお出迎え

贅沢使い

• FUNKY FUKUSUKE •
special exhibition!!

2026 1.13 | 火 | ▶ 1.20 | 火 |

..... 1月19日(月)は休館



FENICE SACAY

フェニーチェ堺

1F 交流・創作ギャラリー

OPEN 9:00-20:00

最終入場時間 19:30

お問い合わせ ▶ フェニーチェ堺 072-223-1000 [9:00-20:00]

[休館日] 第1・3月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始 ※やむを得ない事情により展示内容が変更となる場合があります。

主催: フェニーチェ堺(公益財団法人堺市文化振興財団)

電子瓦版 /





WHO IS FUKUSUKE?



私が福助です

幸運を呼ぶ縁起物や福の神として愛され、商家の玄関などに飾られてきました。その起源は江戸時代中期、将軍 徳川吉宗の頃までさかのぼるといわれています。江戸時代の後期になると日本中に広まり、誰もが知るキャラクターとなっていました。

福耳 FUKUMIMI

縁起の良い大きな福耳

モデルがいた?

「福助」には実在のモデルがいたとされ、

- ① 京都の呉服屋『大文字屋』の主人・彦右衛門
- ② 近江の国のもぐさ商『亀屋左京』の番頭・福助
- ③ 摂津の国の百姓・佐太郎

いずれの「福助」も背が低くて頭が大きく、商いを繁盛させて成功したり、活躍の場を得て幸せに暮らしたという話が残っています。

袴 KAMISHIMO

こちらは豆絞りの袴を着用

千差万別

堺市には約1800体もの貴重な福助人形が所蔵されており、これらのコレクションを活用するため2009年から様々な場所で「福助人形展」が行われています。

本展示はその流れとはすこし異なり、個性豊かな福助人形たちを盛大に愛でてしまおうと企画したものです。

正座 SEIZA

ご存じの方も多いお辞儀の姿



儀乗り福助 昭和初期



古型博多・正座福助 平成期



正座福助 昭和期



正座福助 平成7年
全て堺市蔵

展示

個性あふれる
福助人形の世界

参加型

イケメン福助
総選挙2026

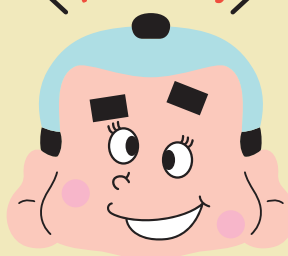
参加型

この福助、
なんて言うてる??
などなど



撮影 歓迎

福笑い助



福助なりきりパネル



FENICE SACAY

アクセス

フェニーチェ堺 (堺市民芸術文化ホール)
〒590-0061 堺市堺区鶴橋町2-1-1
南海高野線 なんば～堺東 約10分
堺東駅から徒歩8分



SACAY TERRACE SALTO

営業時間/11:00-22:00 TEL/072-242-3850

■ランチ/11:00-15:00(L.O.) ■ディナー/17:00-21:00(L.O.)
■カフェ/11:00-21:00(L.O.)

[サカイテラス サルト・フェニーチェ堺敷地内]



薪窯で焼きあげる本格ナポリピッツァ!!
福助展のあとはどうぞサルトへ!!